

各 位

会 社 名 寶結株式会社
(コード番号 562A TOKYO PRO Market、Fukuoka PRO Market)
代表者名 代表取締役社長 福岡 広大
問合せ先 取締役 管理統括 管理本部長 原 英明
T E L 093-562-3755

2026年 8 月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年10月 1 日付の取締役会決議により、最近の業績動向を踏まえ、2026年 4 月24日に公表いたしました2026年 8 月期の通期業績予想を、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2026年 8 月期 通期業績予想の修正（非連結）

(2025年 9 月 1 日～2026年 8 月31日)

(単位：百万円、%。1 株当たり当期純利益は円 銭)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	1,250	125	125	80	66.67
今回修正予想 (B)	1,346	25	17	11	9.61
増減額 (B－A)	96	△99	△107	△68	－
増減率 (%)	7.8	△79.6	△86.0	△85.6	－
(ご参考) 前期実績 (2025年 8 月期)	819	51	51	37	31.59

(注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 当社は2025年11月28日付で普通株式 1 株につき 3 株の株式分割を行っております。前期の 1 株当たり当期純利益は、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

2. 修正の理由

売上高につきましては、第 4 四半期に入り、A I の普及に伴う事業環境の変化が急速に進む中、エンジニアリング分野における従来型の請負開発の売上高が当初想定を下回りました。一方、インフラ分野の売上がこれを補完し、全社の売上高は前回発表予想を上回る見込みとなりました。

利益面では、相対的に利益率の低い案件の売上構成比が高まったことに加え、開発業務の内製化や生産性向上による収益改善が想定どおりに進まず、販売費及び一般管理費の抑制に努めたものの、営業利益は前回発表予想を下回る見込みとなりました。

経常利益及び当期純利益につきましても、営業利益の減少を主因として、前回発表予想を下回る見込みとなったため、上記のとおり修正いたします。

当社は、A I ・データサイエンス領域の体制強化を進めるとともに、A I 活用を前提とした生産・開発体制への転換及び案件別採算管理の強化に取り組み、収益性の改善を図ってまいります。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の決算整理等により予想数値と異なる可能性があります。

以 上